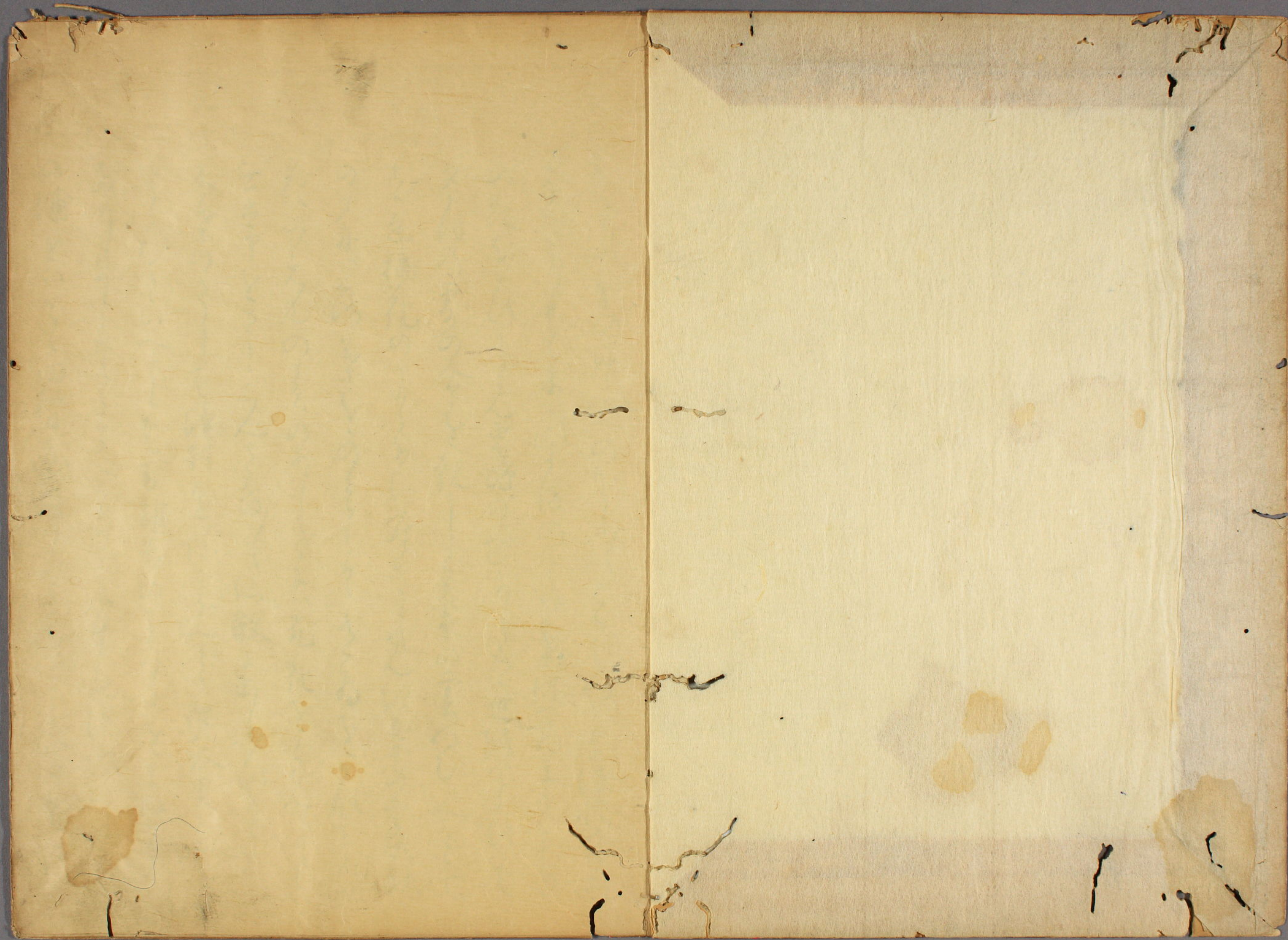




伊地知文庫
文庫20
396
25





源氏表目

伊地知氏書冊

きりつきのゆくへのきりつきのゆくは法性の空へ
 るいりりもあはれはのこの義はつらよこ
 の花をひくく空のむらも世はついで
 父は乃空の命を記しる世の書はひくく
 ときを摘花のくくりにてをくくくく
 の夕母は空の書はひくくくくく
 花のくくくのまのあはれはついで
 空の書はひくくくくくくくくく
 本義のくくくくくくくくくくく
 空の書はひくくくくくくくくく
 の浦といくく四智空明のあはれはひくくくく

く冥途の行方ふらふらひのんて致意のさよ
さささうりにたしき道生のまのしとさけ
て業挽のまとの道とあひのんちんそふ絶乃ち
容とつて維合うして松風と業障の高雲
をささくん生毛病死の身明りかの白しけを
まへん福へむがみそこのささひととめこり玉
つらけてもたのこしとて若うらむるさの
初ましまうらうらうらうら鳥鷹死を参り
みまうらうらうらうらうら胡蝶のうらうら
たのひうらうえん世糸の遊いとかりんやと
のらむらかりんやうらうらうらうらうら
智を乃らうらうらうらうらうらうらうら

こころぬまええとの御幸よはひて意気心
をささくん生毛病死の身明りかの白しけを
まへん福へむがみそこのささひととめこり玉
つらけてもたのこしとて若うらむるさの
初ましまうらうらうらうら鳥鷹死を参り
みまうらうらうらうらうらうら胡蝶のうらうら
たのひうらうえん世糸の遊いとかりんやと
のらむらかりんやうらうらうらうらうらうら
智を乃らうらうらうらうらうらうらうら



